

平成 30 年 10 月 12 日

各 位

東京都渋谷区渋谷一丁目 2 番 5 号
株式会社 TOKYO BASE
代表取締役 谷 正人
(コード番号：3415 東証一部)
問合せ先 取締役 CFO 中水 英紀
電話番号 03-6712-6842

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 10 月 12 日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえて、平成 30 年 4 月 13 日に公表した業績予想を以下のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

1.平成 31 年 2 月期通期業績予想数値の修正（平成 30 年 3 月 1 日~平成 31 年 2 月 28 日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 15,361 | 百万円 2,029 | 百万円 2,032 | 百万円 1,387 | 円 銭 29.46 |
| 今回修正予想 (B) | 13,233 | 1,350 | 1,353 | 897 | 19.03 |
| 増減額 (B-A) | △2,128 | △679 | △679 | △490 | |
| 増減率 (%) | △13.9 | △33.5 | △33.4 | △35.3 | |
| (ご参考) 前期実績 (平成30年 2 月期) | 12,781 | 1,574 | 1,577 | 1,126 | 26.99 |

2.修正の理由

平成 31 年 2 月期 第 2 四半期累計期間につきましては、主力業態である STUDIOUS において、前期の秋冬商戦の低調の影響により、在庫過剰を抑えるべく当季の春物の仕入れを抑えたことと、ブランド力向上を目的として EC 専用の低価格帯商品を廃止いたしました。

当第 2 四半期累計期間の売上高は、前年同期比で 3.3%増加いたしました。既存店舗の売上高は同 88.6%と低調に推移いたしました。

当第2四半期会計期間の既存店舗の売上高は前年同期比 90.8%と復調傾向にありますが、第1四半期累計期間の低調を補完する事が出来ませんでした。

販売費および一般管理費は、店舗増加に伴う人件費、家賃等が増加し、この結果、当第2四半期累計期間は増収減益となっております。

下期では PUBLIC TOKYO を新たに展開し、当期中に7店舗（内 EC 2店舗）を出店いたしますが、既存業態の低調を補完する事が困難であり、現段階までの実績に即した形で算出し、平成30年4月13日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予測値と異なる可能性があります。

以 上